

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

事業名 防災教育推進費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 防災課 防災企画係 電話番号：058-272-1111(内3766)

E-mail：c11115@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 18,710 千円 (前年度予算額：19,700 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	19,700	0	0	0	0	0	0	0	19,700
要求額	18,710	0	0	0	0	0	0	0	18,710
決定額	18,710	11,127	0	0	0	0	0	0	7,583

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

「常態化する想定外」の災害から命を守るためには、県民一人ひとりがハザードマップ等で自らの災害リスクを認識し、その高まりに応じて主体的に避難するなど、自助・共助の底上げが必要となっている。令和2年度から5年間を計画期間とする第2期県強靱化計画では、強靱化推進の基本的な方針として「防災教育」を位置づけ、「災害から命を守る岐阜県民運動」を全世代に向けて展開することとしている。

(2) 事業内容

これまで2年はコロナ禍の影響により、県民に直接働きかける機会が限られていたため、防災啓発イベント「ぼうさいキャラバン」、防災訓練参加等の防災行動のインセンティブとする「ぼうさいポイント」により、県民の防災への意識を高め、行動に移すきっかけづくりとして県民運動を推進していく。

また、世代によって情報取得媒体が異なる傾向があることから、新聞、雑誌や動画コンテンツといった様々な媒体を用いて防災意識の向上を図るとともに、小中学生への防災教育のため、副読本のデジタル教材を作成する。

○LINEを活用した情報発信

事業展開の基盤（プラットフォーム）である「LINE公式アカウント」を用いた県民運動の情報発信を継続。

○ぼうさいキャラバン

1本3分程度の防災啓発動画を制作し、YouTubeで広く発信するとともに、新型コロナウイルス感染防止に配慮した防災啓発イベントを開催。

○ぼうさいポイント

LINE公式アカウントを活用し、防災行事への参加等でポイントを獲得し、防災グッズへの抽選応募ができる仕組みを構築。

○防災学習教材

小学校低学年向け、小学校高学年向け、中学生向けのweb副読本を作成。

（3）県負担・補助率の考え方

県民の防災意識向上のため県で負担する。

（4）類似事業の有無

以下事業と連携し、効果的・効率的な事業実施を図る。

- ・防災啓発推進費

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	263	県民会議等
旅費	142	業務旅費等
需用費	5	会議費
役務費	78	通信運搬費
委託料	18,222	業務委託料
合計	18,710	

決定額の考え方

LINE公式アカウントの活用、防災学習教材のデジタル化など、コロナ禍を契機にDX事業として転換している経費については、デジタル田園都市国家構想推進交付金及び新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

（1）各種計画での位置づけ

第2期県強靱化計画

強靱化の基本的な方針として「防災教育」を位置づけ（第1章3（3））

県民運動、ポイント付与制度等について記載（第5章3（10））

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

災害時、平時に県民が主体的に適切な行動をとることによって自らの命は自らが守るとともに、各々が地域防災のために必要な役割も果たす。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
①災害や緊急時の備えが出来ている人の割合	75%	91.9%	75%	75%	75%	123%
②ハザードマップにより地域の危険性を把握している人の割合	41%	62.5%	65%	70%	75%	83%
③災害の種類に応じた避難場所・避難経路を把握している人の割合	59%	64.3%	70%	75%	75%	86%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>「災害から命を守る岐阜県民運動」への参画を呼びかけ、82団体の賛同を得て「県民会議」を立ち上げ。 LINEアカウントの友だち登録者は約4,700人、YouTube動画の総視聴回数は約15,000回（令和2年度末時点）であり、幅広い世代に対して防災に関する情報を周知することができた。</p>
令和3年度	<p style="color: red;">令和5年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない	
(評価) 3	令和2年7月豪雨災害においても実効性のある避難対策が課題とされており、県民の自助・共助の底上げが求められている。
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	災害や緊急時の備えができていない人の割合は目標を達成したが、ハザードマップにより地域の危険性を把握している人の割合は目標に程遠いため、重点的に取り組んでいく。
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている	
(評価) 2	コロナ禍であることから、効果的・効率的に事業を行うため、デジタルコンテンツによる啓発等を実施している。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 コロナ禍のため、防災イベントや防災訓練等といった人が集まることに対し制約が生じている。LINEや動画コンテンツを活用した防災行動の取組み、啓発がより一層必要である。
--

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 第2期強靱化計画の計画期間中(令和6年度まで)は事業を継続し、KPIを達成するよう取り組む。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	農業フェスティバル、関ヶ原古戦場イベント等に出展
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	多数の来客者に防災教育、啓発を実施することができる